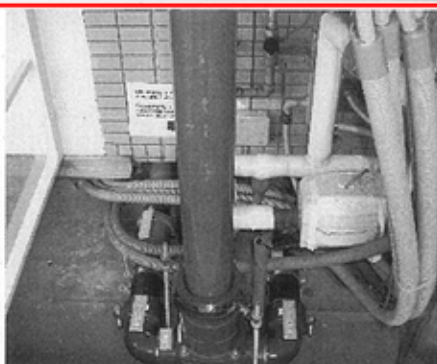


共用排水立て管の更新 簡便化手法を提案

小島製作所



接続替えを容易にする措置が講じられた合流部



共用排水立て管上部に設置された「やりとりソケット」

小島製作所(名古屋市中川区広川町五の二、社長小島徳厚氏、052・361・0001)は、これまで開催された都市再生機構都市住宅技術研究会で、共用排水立て管の更新に「やりとりソケット」を設置し、継手上部が水平に取り外しできる更新用継手(フランチ接続)を採用、更新時には、継

接続作業を簡便化する手法を提案した。今春リニューアルしたKSI住宅実験棟「二〇一号室」では、長寿命型機械式SI住宅と民間SI技術提案住宅のモデルを展示している。同社が共用排水立て管の更新技術として提案したのは、上下分割可能な更新用継手と立て管・横引管用の各ソケットを組み合わせることで、立て管の更新・接続作業を簡便化する手法。

七日から北海道で開催される洞爺湖サミットでは、エコキュートや省エネ家電などを展示し日本の環境先進技術を世界に発信する。ヒートポンプ・蓄熱センターでも「ヒートポンプ」技術を採用した機器類を展示、導入事例などを紹介する予定。これらの機器・技術は、同サミットの国際メディアセンター内に設置される政府主催の展示スペース(環境ショーケース)で展示。同センターは、世界各国から取材に訪れる報道関係者の拠点となっており、ショーケースは日本の技術のPR

環境先進技術 世界にアピール

エネ化でCO₂排出削減に結びつく例が多い。東京・有楽町の「有楽町マリオン」も、ガス直



「省エネ性に加え、初期投資コストも三五年で回収できるようなシステムを提案、引き合いも増加している」(同ビル改修工事担当・高砂熱学工業)という。昨年、竣工した東京ミッドタウン・新丸ビルなどにも導入された。今後、省エネ・環境配慮の観点から利用拡大、標準化が進むと期待されている。

長期使用製品安全点検・表示制度の説明会開く

キッチン・バス工業会は六月十九日、東京・芝の関係者が参加した。同説明会は、来年四月一日付で施行される改正消費生活用製品安全法(消費法)による「長期使用製品安全点検・表示制度」の概要を説明する。同法は、長期使用製品安全点検・表示制度の概要を説明する。同法は、長期使用製品安全点検・表示制度の概要を説明する。

発電機付き業務用GHP 「ハイパワーエクスセル」



大阪ガスは、東邦ガス・ヤンマーエネルギーシステムと共同で、冷暖房運転と同時に発電を行う、建物内に電力を供給できる発電機付き業務用ガスエンジンヒートポンプエアコン(GHP)「ハイパワーエクスセル」を十月から発売する。今年度、同社エリア内で八百二十台の販売をめざす。新製品は、室外機のコンプレッサをガスエンジンで駆動し、ヒートポンプ運転によって冷暖房を行う「GHP」に発電機を搭載、冷暖房運転と同時に発電を行うもの。発電した電力は、室外機で使用する消費電力をすべて補つことができ、さらに系統連系(電気事業者の商用電力系統に発電設備などを接続し運用)に

「バブルおそうじ」搭載エコキュート
三菱電機は、十日から発売を開始した「バブルおそうじ」を搭載したエコキュートを六月十二、十三日の両日、開催された同社グループ総合展示会(関西初披露)で披露した(写真)。「バブルおそうじ」は、微細な泡が汚れを吸着する性質を利用したもので、水の中で通常



三菱電機「バブルおそうじ」エコキュート